

# 平成20年度 各会計決算の概要

平成20年度の決算については、「歌志内市財政健全化計画」を基本に、引き続き投資的経費を抑制してきましたが、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断基準により実質公債費比率が早期健全化団体に該当することとなりました。しかし、この比率は21年度決算には基準を下回る予定です。

また、18年度の取り崩しにより皆無となった財政調整基金への積立を行い、今後の財政調整のための財源を確保することができました。

## 1. 決算規模及び収支の状況

一般会計以下7会計における歳入歳出決算の総額は、歳入60億7,971万9千円、歳出59億849万9千円で、1億7,122万円の黒字であります。前年度と比較しますと、歳入で2億6,962万7千円、4.2%の減、歳出で3億8,191万5千円、6.1%の減となっております。

各会計別の収支は、一般会計で1億4,036万円の黒字、国民健康保険特別会計で2,992万9千円、後期高齢者医療特別会計で931千円の黒字となっております。

このほか、市営改良住宅特別会計以下の4特別会計については、一般会計からの繰出金等により収支の均衡を計っております。

## 2. 歳入歳出の状況

### (1) 一般会計

歳入の主なものでは、国庫支出金の3,230万5千円（対前年度伸び率7.9%）、地方交付税2,387万8千円（同0.9%）が前年度を上回りました。

その主なものとして、国庫支出金は国の経済政策による「定額給付金」や「地域活性化・緊急安心実現総合対策」等にもなう国庫補助金の増、地方交付税は特別交付税の増によるものであります。

一方、市税は3,209万5千円（対前年度伸び率△10.6%）、財産収入は904万円（同△46.1%）で前年度を下回りました。

その主なものとして、市税は市民税の減、財産収入については財産売払収入の減であります。

歳出では、投資的経費が6,063万5千円（構成比1.4%）、義務的経費が22億1,824万6千円（同49.3%）、その他の経費が22億1,642万3千円（同49.3%）であります。

前年度との比較では、投資的経費が1,717万1千円（対前年度伸び率△22.1%）の減となり、義務的経費が1億4,645万円（同△6.2%）の減、その他の経費が5,364万8千円（同2.5%）の増となりました。

投資的経費の減は、道路新設改良事業（繰越明許）の減によるもので、義務的経費については、人件費及び償還終了に伴う公債費の減であります。その他の経費については、財政調整基金への積立金の増及び補助費等並びに前年度繰上充用金の減となっております。

### (2) 特別会計

6会計合わせて歳入総額は14億4,405万5千円（対前年度伸び率△14.8%）で、その主なものは、使用料及び手数料3億2,831万7千円（同△1.7%）、繰入金5億1,461万6千円（同△14.2%）、市債3億6,519万4千円（同5.4%）であります。

減額となった主な要因は、市営改良住宅特別会計の国庫支出金及び繰入金（歌神地区改良住宅建替事業分）が減となったものであります。

歳出では、投資的経費が4,592万円（対前年度伸び率△82.1%）、義務的経費が10億3,832万4千円（同△2.9%）、その他の経費が3億2,895万1千円（同△8.4%）であります。

### 3. 財政構造（普通会計ベース）

指数面では、財政の弾力性を測定する経常収支比率は83.5%（前年度86.4%）、財政力の強弱を示す財政力指数は0.129（同0.125）、公債費比率は15.7%（同17.6%）であります。

また、地方債の元利償還金に加え、下水道などの公営企業が支払う元利償還金への一般会計繰出金などを含めて算出した実質公債費比率は26.8%であります。

### 4. 投資的事業（1件 1,000万円以上）

旧歌志内高校暖房機改修工事

5. 各会計補正予算

(単位：千円)

会計別	当初予算額	補正予算額	最終予算額	補正回数	伸び率%
一般会計	4,262,000	457,171	4,719,171	8 <small>うち 専決</small> 2	10.7
市営改良住宅特別会計	175,300	1,350	176,650	3 <small>うち 専決</small> 1	0.8
市営住宅特別会計	148,800	4,964	153,764	4 <small>うち 専決</small> 1	3.3
市営公共下水道特別会計	457,400	228,206	685,606	2	49.9
市営神威岳観光特別会計	138,200	△1,365	136,835	1	△1.0
国民健康保険特別会計	190,900	19,089	209,989	2	10.0
後期高齢者医療特別会計	92,300	△3,911	88,389	2	△4.2
合計	5,464,900	705,504	6,170,404	22 <small>うち 専決</small> 4	12.9

6. 各会計決算総括表

(単位：千円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	4,635,664	4,495,304	140,360
市営改良住宅特別会計	173,653	173,653	0
市営住宅特別会計	152,776	152,776	0
市営公共下水道特別会計	686,165	686,165	0
市営神威岳観光特別会計	136,651	136,651	0
国民健康保険特別会計	206,259	176,330	29,929
後期高齢者医療特別会計	88,551	87,620	931
合計	6,079,719	5,908,499	171,220

7. 各会計予算と決算の状況

(単位：千円)

会計別	区分	予算現額 A	決算額 B	増減 B-A	執行率 B/A%
一般会計	歳入	4,720,431	4,635,664	△84,767	98.2
	歳出	(1,260)	4,495,304	△225,127	95.2
市営改良住宅特別会計	歳入	176,650	173,653	△2,997	98.3
	歳出		173,653	△2,997	98.3
市営住宅特別会計	歳入	153,764	152,776	△988	99.4
	歳出		152,776	△988	99.4
市営公共下水道特別会計	歳入	686,494	686,165	△329	100.0
	歳出	(888)	686,165	△329	100.0
市営神威岳観光特別会計	歳入	136,835	136,651	△184	99.9
	歳出		136,651	△184	99.9
国民健康保険特別会計	歳入	209,989	206,259	△3,730	98.2
	歳出		176,330	△33,659	84.0
後期高齢者医療特別会計	歳入	88,389	88,551	162	100.2
	歳出		87,620	△769	99.1
合計	歳入	6,172,552	6,079,719	△92,833	98.5
	歳出	(2,148)	5,908,499	△264,053	95.7

※予算現額A欄下段の( )は、繰越明許繰越額の内数です。